

■ もりもと・たかしの作品

第19回岡本太郎現代芸術賞 入選作品



五億年後、ハルギケニアの末
命と魂の机と領域



Informational text card for the cardboard sculpture.



五億年後、ハルキゲニアの末
齋としての私、の初と領域。

ハルキゲニア、
生活の悩み

雲

五億年前の海で、
ハルキゲニアも「凶」んでいる。
左列の真ん中の足が
向かおかしい。」





作品名：ハルキゲニア、生活の悩み 五億年前の海で、ハルキゲニアも悩んでいる。「左列の真ん中の足が何かおかしい。」

- ある日、5億年前の生命、ハルキゲニア、に心惹かれた。ハルキ（幻惑的）と名付けられた、屍肉を食らい、最初上下逆さに紹介された、全長3cmの、ちょっと情けない生命体。
- 生命の歴史の中で、泡のように出現し、消えて行った。
- 私と共通した疾患（左足の違和感）を持つハルキゲニアに同期して、ハルキゲニアがなりたいと夢想しただろう大きな生命体をマンションの狭い自室で作る。足を補う後尾の推進力と生餌を捕らえる鳴き声を追加して。
- 制作は「プリコラージュ」的に、辺りにあるものを使ってカジュアルに、ちょっとルーズに進める。
- **もりもと・たかし 森本 孝**
- **1946年生まれ、65歳より美術制作を始める（新多摩川ハイム在住）**